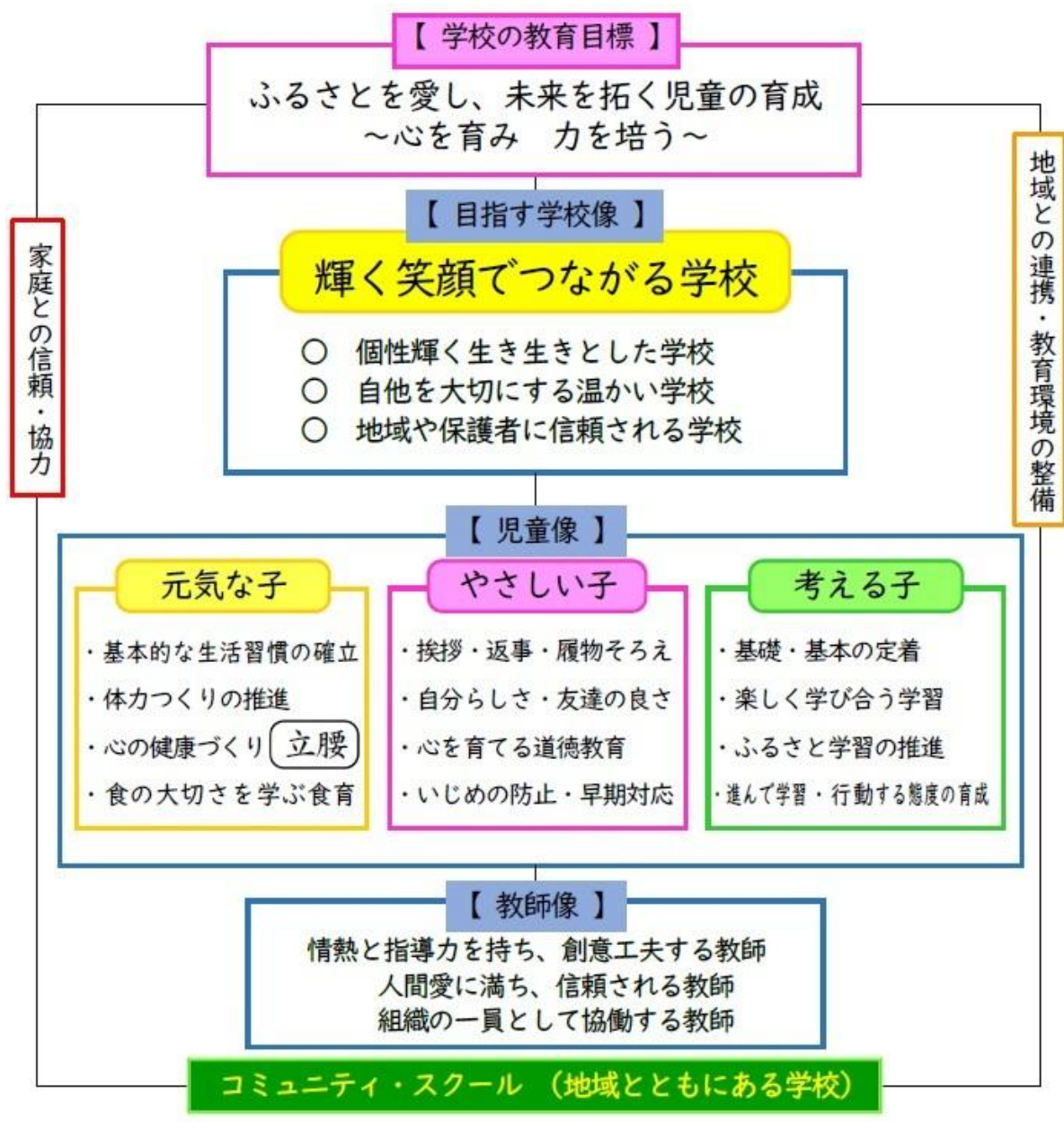


令和7年度 教育計画						学校番号 10	
四国中央市立中曽根小学校							
校長名	豊田 博幸	学級数	15 (3)	児童 生徒数	296	教職員数	23

経営方針

ふるさとを大切に思い、自分の人生や未来を切り拓く心豊かでたくましい児童の育成を目指し、児童も、教師も、家庭も、地域もみんなが良さや力を出し切り認め合える、自分らしい輝く笑顔でつながる学校づくりに努める。

- 規律を基盤に、自分らしい笑顔が輝く、安心できる学習・生活づくりを推進する。
- いじめや差別を絶対に許さない、実践力のある人権・同和教育を推進する。
- 教職員の研修と創意、連携と総和を重んじ、活力に満ちた教育活動を展開する。
- 家庭、地域との連携・協力を努め、信頼される学校経営を展開する。



重点目標	1 社会総がかりで取り組む教育の推進（コミュニティ・スクールの推進・充実） ○ 家庭・地域との連携・協働を目指した学校運営協議会の運営 ○ 地域・家庭と連携した豊かな体験活動とキャリア教育の推進 ○ ホームページ・学校便り・学級便り・授業参観等による積極的な情報公開 2 安全・安心な学校づくり ○ いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応の徹底 ○ 交通安全、生活安全指導の徹底及び安全な教育環境の整備と防災教育の推進 ○ 児童・教職員の心身の健康状態の確実な把握と業務改善 3 確かな学力を基盤とした未来を切り拓く力の育成（「考える子」の育成） ○ ICTの効果的な活用による楽しく学び合う「分かる・考える」授業の推進 ○ 基礎学力の確実な定着（朝ドリル・読書の推進） ○ 進んで学習する態度の育成（自主学習の奨励・学び方の指導） ○ 気づき、考え、実行する力の育成（学級活動・児童会活動の活性化） 4 豊かな心の育成（「やさしい子」の育成） ○ 挨拶・返事・履物そろえ・聞く・伝える（五つの目標）の定着 ○ 個性や違いを認め合い、自分らしく共に伸びる温かい人間関係の確立 ○ 異年齢集団による交流活動の推進といじめや差別を許さない仲間づくり ○ JRC活動の精神と「宇摩の子の誓い」を活用した奉仕の精神や規範意識の醸成 5 望ましい生活習慣と健やかな体を育てる教育の推進（「元気な子」の育成） ○ 基本的な生活習慣・食習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん）と立腰の推進 ○ 体力づくりに主体的に取り組む児童の育成（ITスタジアム・外遊びの奨励） 6 一人一人を見つめる特別支援教育の充実 ○ 児童理解と全教職員の共通認識及び指導力の向上 ○ 交流及び共同学習の充実 ○ 校内教育支援委員会の推進及び関係機関や家庭との連携（個別支援計画の活用）
管理運営	1 人的管理 ○ 「報告・連絡・相談・見届け」を密にした厳しさと温かさのある職場づくり ○ 服務規律の徹底と、危機管理意識の向上 ○ 働き方改革によるワークライフバランスの実現とウェルビーイングの向上 ○ 地域の教育力を効果的に活用した教育の推進 2 物的管理 ○ 施設設備の定期的な安全点検による事故防止 ○ 教育の場にふさわしい情操豊かな教育環境の整備 3 事務管理 ○ 校務分掌の適正化、ICT等の活用による迅速で効率的な事務処理 ○ 著作権、肖像権保護への意識高揚と個人情報の適切な保管・管理 ○ 共同学校事務室の機能を生かした適正で効果的な事務の推進
本校教育の特色	JRC、人権・同和教育、SDGsを核とし、友達から学ぶ、親から学ぶ、先生から学ぶ、地域から学ぶ姿勢を大切にし、心豊かで温かい児童を育成する。 コミュニティ・スクールの良さを生かし、家庭・地域との連携協働の強化を図り、地域学校協働活動による児童の豊かな体験活動を展開するとともにふるさと中曽根を愛する児童を育成する。 赤十字の精神（1987年より青少年赤十字に加盟）「気づき、考え、実行する」を基に、朝のボランティア活動など、児童の自主的な活動を推進する。